



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月7日

上場会社名 株式会社 キトー

上場取引所 東

コード番号 6409 URL <https://kito.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鬼頭 芳雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 財務管理本部長 (氏名) 遅澤 茂樹

TEL 03-5908-0161

四半期報告書提出予定日 2019年11月8日

配当支払開始予定日

2019年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	27,548	△2.3	2,177	△15.1	1,795	△22.4	1,083	△41.0
2019年3月期第2四半期	28,190	14.3	2,564	102.0	2,314	163.2	1,835	244.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 442百万円 (△79.1%) 2019年3月期第2四半期 2,113百万円 (185.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	52.98	52.84
2019年3月期第2四半期	89.95	89.50

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	61,686	26,618	41.6
2019年3月期	62,078	26,687	41.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 25,679百万円 2019年3月期 25,690百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	24.00	44.00
2020年3月期	—	24.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	△2.0	6,000	△6.4	5,500	△4.3	3,700	△9.0	180.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	27,048,200 株	2019年3月期	27,048,200 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2020年3月期2Q	6,579,568 株	2019年3月期	6,631,768 株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	20,440,515 株	2019年3月期2Q	20,403,602 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、米中通商政策の動向や日韓関係の先行き懸念から、企業の設備投資に慎重な見方が広がりました。当社を取り巻く事業環境は、日本、米国ともにインフラ関連修繕需要、民間設備投資とも堅調に推移し、中国では内需向け成長産業の投資需要が継続しました。

5カ年の中期経営計画の4年目となる当連結会計年度は、製品・サービスの品揃えを拡充し、投資需要を着実に取り込みつつ、各施策を実行してまいります。

当第2四半期連結累計期間においては、インフラ、民間投資需要ともに底堅く推移し、売上高は27,548百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益は2,177百万円（前年同期比15.1%減）、経常利益は1,795百万円（前年同期比22.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,083百万円（前年同期比41.0%減）となりました。事業の根幹となるホイスト需要は期初計画通り推移するものの、前年同期で計上されていた韓国の大型物件（クリーンルーム用クレーンシステム）の減少、並びに経常利益以下においては、為替差損、法人税負担増が減収減益の主たる要因です。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。当社グループは、当社及び連結子会社の所在地別セグメント区分で事業活動を展開しております。

セグメントの名称	売上高(前年同期比)	営業損益(前年同期比)
日本	13,370百万円 (7.3%減)	2,704百万円 (14.9%減)
米州	12,817百万円 (1.0%減)	435百万円 (15.3%増)
中国	4,037百万円 (9.7%増)	533百万円 (12.1%増)
アジア	1,367百万円 (40.4%減)	△18百万円 (前年同期は283百万円の営業利益)
欧州	1,803百万円 (42.1%増)	△73百万円 (前年同期は10百万円の営業利益)
その他	789百万円 (22.5%減)	5百万円 (69.9%減)

## (日本)

国内では、民間設備投資、とりわけ部品関連の需要が前年同期を上回る結果となりました。一方でインフラ整備や災害復旧の現場で、機材の稼働状況は依然として高水準で推移するものの、レンタル業界においては、期中における、機器調達の一服感が見られました。また輸出については、子会社の在庫補充が前年度で一巡し、今期の出荷を抑制しました。その結果、売上高は13,370百万円（前年同期比7.3%減）、営業利益は2,704百万円（前年同期比14.9%減）となりました。

## (米州)

米国は対中国問題、及び政権運営に不透明感が漂うものの、民間及び公共設備投資ともに底堅く推移し、売上高は12,817百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益は435百万円（前年同期比15.3%増）となりました。

## (中国)

中国市場においては、対米貿易摩擦の影響もあり全体の設備投資需要が弱含むなか、安全志向の高まりと好調業種のニーズを着実に捉えることにより、シェア拡大を継続しました。その結果、売上高は4,037百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益は533百万円（前年同期比12.1%増）となりました。

## (アジア)

東南アジアにおける自動車関連をはじめとした需要の底堅さは続くものの、韓国、台湾の景気減速感は顕著で、売上高は1,367百万円(前年同期比40.4%減)となりました。利益面では18百万円の営業損失(前年同期は283百万円の営業利益)となりました。

## (欧州)

欧州市場の景気減速感が漂うものの、業種を絞った拡販施策に注力、加えて前連結会計年度末にチェーン関連製品を製造するイタリア子会社を連結したことから、売上高は1,803百万円(前年同期比42.1%増)となりました。利益面では73百万円の営業損失(前年同期は10百万円の営業利益)となりました。

## (その他)

当セグメントは現在、豪州のみで構成されており、中国経済減速の影響によって売上高は789百万円(前年同期比22.5%減)、営業利益は5百万円(前年同期比69.9%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は61,686百万円と前連結会計年度末に対し391百万円減少いたしました。これは、受取手形及び売掛金の減少2,115百万円、商品及び製品の増加1,318百万円、投資有価証券の増加1,627百万円等によるものです。

負債合計は35,068百万円と前連結会計年度末に対し323百万円減少いたしました。これは、短期借入金の増加653百万円、未払費用の減少1,075百万円等によるものです。

純資産合計は26,618百万円と前連結会計年度末に対し68百万円減少いたしました。これは、利益剰余金の増加593百万円、繰延ヘッジ損益の減少69百万円、為替換算調整勘定の減少612百万円等によるものです。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は8,184百万円となり、前連結会計年度末に比べて320百万円減少いたしました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは1,598百万円と前年同期比1,544百万円収入増となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が1,763百万円、売上債権の減少が1,821百万円、たな卸資産の増加が2,052百万円となったこと等によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは△2,241百万円と前年同期比1,149百万円支出増となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が719百万円、関係会社株式の取得による支出が1,287百万円となったこと等によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは396百万円と前年同期比1,194百万円支出減となりました。これは、長期借入れによる収入が2,400百万円、長期借入金の返済による支出が2,036百万円となったこと等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、米中貿易摩擦の長期化を懸念した世界規模での景気弱含み感と、足元で継続する円高基調を織り込み、2019年5月13日に公表いたしました業績予想を変更しております。詳細は2019年11月7日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,678	8,194
受取手形及び売掛金	12,587	10,472
商品及び製品	13,337	14,655
仕掛品	1,231	1,397
原材料及び貯蔵品	3,356	3,447
その他	1,396	1,070
貸倒引当金	△63	△90
流動資産合計	40,524	39,147
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,385	4,188
機械装置及び運搬具(純額)	4,666	4,270
その他(純額)	2,232	3,330
有形固定資産合計	11,283	11,789
無形固定資産		
のれん	1,650	1,455
その他	4,442	4,060
無形固定資産合計	6,093	5,516
投資その他の資産		
投資有価証券	801	2,429
繰延税金資産	1,805	1,618
その他	1,569	1,185
投資その他の資産合計	4,176	5,233
固定資産合計	21,554	22,539
資産合計	62,078	61,686

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,483	6,818
短期借入金	2,844	3,497
1年内返済予定の長期借入金	3,988	4,245
未払費用	3,488	2,412
未払法人税等	1,065	299
賞与引当金	843	811
その他の引当金	394	397
その他	1,074	1,157
流動負債合計	20,183	19,641
固定負債		
長期借入金	11,962	11,810
役員退職慰労引当金	221	—
退職給付に係る負債	1,996	2,016
その他	1,027	1,600
固定負債合計	15,207	15,427
負債合計	35,391	35,068
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,976	3,976
資本剰余金	5,214	5,234
利益剰余金	21,863	22,456
自己株式	△5,725	△5,680
株主資本合計	25,328	25,986
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延ヘッジ損益	52	△17
為替換算調整勘定	552	△59
退職給付に係る調整累計額	△242	△230
その他の包括利益累計額合計	362	△307
新株予約権	50	57
非支配株主持分	945	881
純資産合計	26,687	26,618
負債純資産合計	62,078	61,686

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	28,190	27,548
売上原価	17,946	17,207
売上総利益	10,243	10,341
販売費及び一般管理費	7,679	8,163
営業利益	2,564	2,177
営業外収益		
受取利息	18	20
作業くず売却益	24	21
為替差益	44	—
その他	93	42
営業外収益合計	181	84
営業外費用		
支払利息	193	175
持分法による投資損失	93	47
為替差損	—	162
その他	144	81
営業外費用合計	430	466
経常利益	2,314	1,795
特別利益		
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	—	32
特別損失合計	—	33
税金等調整前四半期純利益	2,314	1,763
法人税等	407	637
四半期純利益	1,907	1,126
非支配株主に帰属する四半期純利益	71	43
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,835	1,083



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	1,907	1,126
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
繰延ヘッジ損益	39	△69
為替換算調整勘定	149	△596
退職給付に係る調整額	9	12
持分法適用会社に対する持分相当額	7	△30
その他の包括利益合計	205	△683
四半期包括利益	2,113	442
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,076	412
非支配株主に係る四半期包括利益	36	29

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,314	1,763
減価償却費	1,177	1,346
のれん償却額	162	151
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△478	30
受取利息及び受取配当金	△39	△20
支払利息	193	175
為替差損益(△は益)	△175	79
持分法による投資損益(△は益)	93	47
売上債権の増減額(△は増加)	94	1,821
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,593	△2,052
仕入債務の増減額(△は減少)	643	461
未払費用の増減額(△は減少)	△832	△1,070
前受金の増減額(△は減少)	△462	△16
その他	56	331
小計	1,154	3,048
利息及び配当金の受取額	18	19
利息の支払額	△190	△183
法人税等の支払額	△928	△1,285
営業活動によるキャッシュ・フロー	53	1,598
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△532	△719
無形固定資産の取得による支出	△90	△87
関係会社株式の取得による支出	—	△1,287
その他	△469	△145
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,091	△2,241
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,408	755
長期借入れによる収入	400	2,400
長期借入金の返済による支出	△2,138	△2,036
配当金の支払額	△366	△489
非支配株主への配当金の支払額	△80	△93
その他	△21	△140
財務活動によるキャッシュ・フロー	△798	396
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27	△74
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,863	△320
現金及び現金同等物の期首残高	10,769	8,504
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△40	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,865	8,184

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他」が926百万円、流動負債の「その他」が243百万円及び固定負債の「その他」が381百万円増加し、流動資産の「その他」が3百万円及び投資その他の資産の「その他」が297百万円減少しております。当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アジア	欧州	その他			
売上高									
外部顧客への売上高	7,302	12,888	3,417	2,295	1,267	1,019	28,190	—	28,190
セグメント間の 内部売上高又は振替高	7,114	53	261	0	1	—	7,431	△7,431	—
計	14,416	12,942	3,679	2,295	1,269	1,019	35,622	△7,431	28,190
セグメント利益	3,177	377	476	283	10	17	4,343	△1,779	2,564

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,779百万円には、セグメント間取引消去△611百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,168百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アジア	欧州	その他			
売上高									
外部顧客への売上高	7,404	12,790	3,657	1,367	1,539	789	27,548	—	27,548
セグメント間の 内部売上高又は振替高	5,966	26	379	—	264	—	6,637	△6,637	—
計	13,370	12,817	4,037	1,367	1,803	789	34,186	△6,637	27,548
セグメント利益又は損失(△)	2,704	435	533	△18	△73	5	3,586	△1,409	2,177

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,409百万円には、セグメント間取引消去△130百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,278百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。